

文教委員会資料

陳情審査

陳情第 96 号「川崎市立南生田小学校体育館建て替えに関する陳情」

平成 29 年 12 月 11 日
教育委員会事務局

陳情第96号「川崎市立南生田小学校体育館の建て替え」に関する資料

1 南生田小学校 児童数・学級数、体育館の概要

児童数		学級数	
通常	特別支援	通常	特別支援
1,033	16	31	3

<体育館の施設概要>
 ○建築年月 昭和52年2月
 ○鉄骨造 2階建
 ○延べ面積 590㎡

2 児童・生徒数、学級数の長期推計【確報版】 平成29年10月作成

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
児童数	1,033	1,022	1,036	1,025	1,033	1,003	987
学級数	31	30	30	30	30	30	30

3 保有教室数

保有教室数			
普通教室		特別教室	
32	一時的余裕教室 1教室	6	理科・音楽・図工・ 家庭・図書・PC

※左記の普通教室は特別支援学級を除いたものとなっております。

4 学校施設有効活用事業における登録団体数・利用実績（平成28年度南生田小学校）

登録団体数（合計22団体）

体育館	校庭	特別教室（音楽室）
12	7	3

〔体育館利用団体種目〕
バレーボール、バドミントン、
バスケットボール、剣道、羽根つき

利用実績

体育館		校庭		特別教室（音楽室）	
利用日数	利用回数	利用日数	利用回数	利用日数	利用回数
259	434	128	297	89	113

5 学校施設長期保全計画策定時における現状と課題

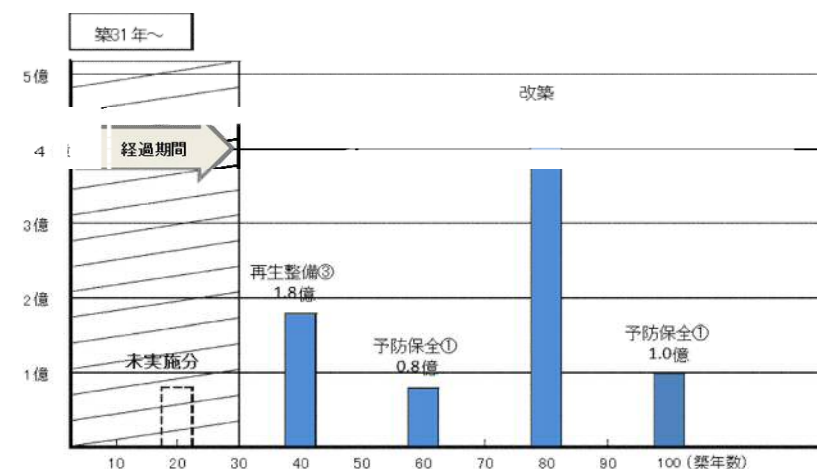
本市の学校施設は、非木造施設約130万㎡のうち、築年数が20年以上の施設は、約90万㎡と全体の7割を占めており、老朽化が進んでいます。
 こうしたストックが偏在している状況の中で高まる改築需要の抑制を図る必要があります。また、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した、高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレ等のこどもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等の様々な配慮が学校施設には求められています。
 改修による老朽化対策、教育環境の質的向上、環境対策を行う再生整備と予防保全を基本とし、長寿命化の推進による財政支出の縮減と平準化を図るために長期保全計画を平成26年3月に策定した。（「資産マネジメントカルテの第2期取組期間の実施方針」と連携して計画を策定）

学校施設長期保全計画策定後の取組

○平成26年度より設計に着手 ○平成28年度より工事開始

6 学校施設長期保全計画に基づく取組内容

- 目標耐用年数：80年に設定
- グルーピング：
平成25年4月1日を基準として校舎と体育館を築年数に応じて3グループに分類
 Aグループ：築20年以下（校舎39校・体育館37校）
 Bグループ：築21年～30年（校舎36校・体育館90校）
 Cグループ：築31年以上（校舎98校・体育館48校）
- Cグループ体育館における整備実施時期及び整備メニュー

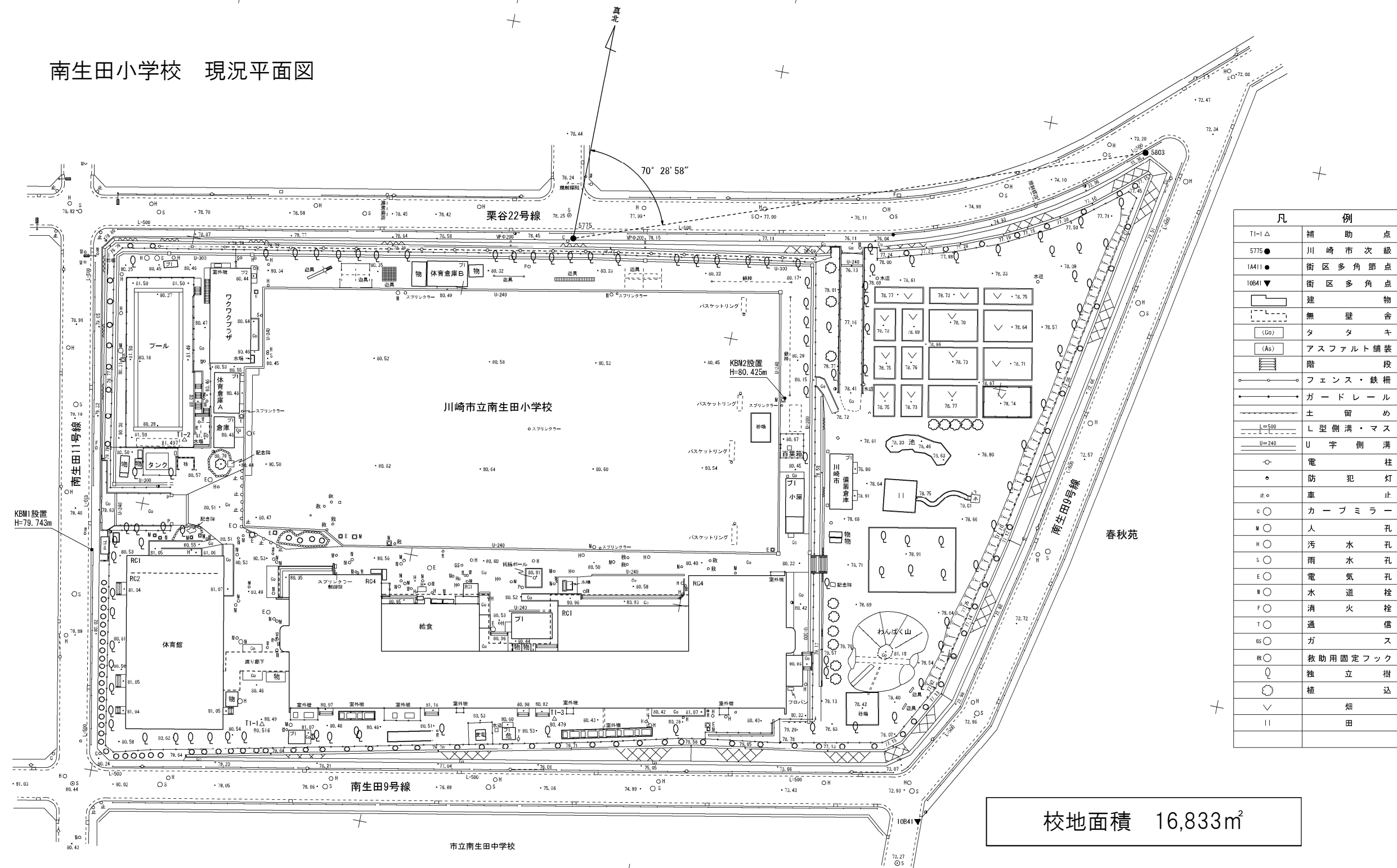


〔整備メニュー〕
 再生整備③：屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、太陽熱利用システム等
 予防保全①：屋根・外壁補修、照明改修等

南生田小学校体の体育館改修に向けたスケジュール（再生整備③）

○平成29～30年度 設計
 ○平成31年度 工事（予定）

南生田小学校 現況平面図



南生田小学校 体育館平面図

